

金浦瓦版

編集：発行：金浦区自治会

発行日：2021.11.1

楓蔦黄（もみじつたきばむ）候となりました。新型コロナウイルスとの長期戦が続いていくのでしょうか。この試練とどう向き合っていくかの知恵やヒントを共有できたらと思います。さて、**今回は夜久野高原88ヶ所石仏巡りに関するお知らせです。**金浦地番にある放光院（茶堂）は古くから三郷（三町）の人々の信仰、交流の拠点として親しまれてきました。春秋のお大師さんや一道貞心禅師、宝山、金刀比羅山、夜久野城跡、エドヒガンザクラ等々史跡や自然の豊かな地域です。茶堂を基点とした高原周辺の魅力を外部に発信したり、地域の人々が集い再び賑わいを復活させるべく3～4年前から少しずつ関係団体と連携しながら取り組み始めています。金浦における放光院管理者の配置、隣保単位の庵世話係、老人会（現在は宝クラブと改称）による放光院清掃奉仕、風の願祭における金刀比羅山笹刈り共同作業等、年間を通した関わりを大切にしてきました。

話は変わりますが、時代の流れで人々の交わる機会が極端に少なくなっている現実があります。そこで取り組まれたのが「春の大師祭」でした。護摩供養の継続に加えて奉納太鼓・貞心茶席・グループの演奏等のアイディアで、今では100人規模のイベントとなっています。

そして一昨年から放光院護持会が新たな取組として、88ヶ所石仏巡りの参道整備や石仏・祠の補修、順路表示設置等を行ってきました。その意図するところは、かつてのような石仏巡りの復活です。それと、ネットや金浦区のHP（ホームページ）で遠方から訪れる人が増えています。宝山中腹の展望台から見る「雲海」も撮影スポットとして人気があります。このような状況も後押しとなり、現在は「88ヶ所石仏巡り案内資料」の作成や「巡拝コースガイド養成」にも目途がついた状況です。

前置きが長くなりましたが、護持会で企画し新聞紙上でオープン参加を呼びかけ、石仏巡りの日を設定して、当日参加された方には希望があれば巡拝コース案内人が同行するようになっています。10月21日に護持会運営委員会等の役員が集まりPR会場設営、新聞社取材対応、「石仏巡りの日」の打合せを行いました。



運営委員中心にPR会場設営

「石仏巡りの日」の御案内

日時 R3年11月7日（日）雨天中止

集合場所 9時までに放光院前

境内で受付、資料あり（4点セット）、各コース

金浦区の皆さん、近くですのでお誘い合わせのうえご参加ください。一人も可です。お勧めは平坦な①コース（1時間程度）で

【備考】放光院護持会役員は三地区の21ヶ所で22人。別に企画する運営委員会を設置（金浦区からは管理人2人と区長経験者2人の4人）

コースの案内

①散歩コース 1番～10番 約1時間	②健脚コース 1番～69番 約2時間
③満願コース 1番～88番 3時間以上	④案内なしコース（受付で希望のコースを通告）

